

洞爺湖町議会平成 29 年 9 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6 番 立 野 広 志	1 町主催の戦没者追悼式は、子供たちとともに平和の誓いを新たにできる機会としてはどうか 2 認知症の方でも取得できる「精神障害者保健福祉手帳」の周知・徹底で、介護における支援強化を	平和をめぐる国内・国際情勢についての認識は。 戦没者追悼式の由来とこれまでの経緯 追悼式の参列者の案内、参加状況。 追悼とともに将来に向けた平和の誓いをより明確にするための具体的検討がされていたか。 「洞爺湖町非核平和の町宣言」(2008年3月19日)を具現化するうえで、戦没者追悼式は重要な機会となるものではないか。 次世代の子どもたちと平和への誓いを新たに する内容とする考えはないか。 「平和の町宣言」にふさわしく、広く町民の参加を呼びかけ開催する考えはないか。 日本非核宣言自治体協議会が主催するU-40世代の交流によるネットワーク拡大事業の積極的活用を。 家族の高齢化とともに、医療と介護で発生する出費は悩みの種。例えば家族が認知症になったら介護保険を受けられますが、その介護保険に関しても、法律の改正もあってその利用に制限がかかり、高齢者と家族の生活を日々ひっ迫しています。 しかし、場合によっては介護保険以外の福祉制度を利用することもできます。今回はそのために必要な、認知症の方でも取得できる「精神障害者保健福祉手帳」について質問します。 手帳の交付を受けた人はどのような支援を受けることができますか。 取得できる条件に含まれる精神疾患はなんですか。 認知症の方でも取得できる「精神障害者保健福祉手帳」についてどの程度知られていると思いますか。 申請しなければ「精神障害者保健福祉手帳」を取得できません。制度の知識や理解がなければ申請すらできません。行政から様々な機会を通じて制度の周知や申請方法を知らせ、時には、窓口で相談に対応することも必要ではないか。	

洞爺湖町議会平成 2 9 年 9 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6 番 立 野 広 志	3 防災計画見直しの進捗状況及び具体化の内容について	地域防災計画の見直し協議が行われているがその内容と進捗状況は。 災害ごとの住民の避難対応や避難所の変更はあるのか。 防災意識の向上に向けた防災教育や講座の開催状況 自主防災組織の立ち上げや活動への支援の内容について。 町の要望により「北海道地域防災マスター」認定研修会が当町で実施されるが、当町の参加者確保のためどのような対応をされるのか。 今年の防災訓練の実施結果と今後の計画について。特に訓練実施前の周知・参加者確保と訓練後の課題の洗い出し、評価などを町民に情報開示することについて。	
4 番 高 臣 陽 太	1 北海道ツーデーマーチについて 2 民泊新法について	事業の目的と参加人数の推移は。 今年 3 0 回大会を迎えるが今後の展望はどのように考えているか。 町として条例制定に対する考え方は。	
3 番 五十嵐 篤 雄	1 認知症の予防について 2 害虫対策について	高齢化が加速度的に進行する中、どのようにして認知症の実態を把握されているのか。 軽度認知障害（MCI）の状況を早期に発見し対応次第で認知症の発症を防ぐことが可能といわれているが当町の取組みは。また、別の予防策の考えは。 予防や発症者のケアのために地域が担える役割としてどのようなことが考えられるか。 生命を脅かすハチ・マダニ・ヒアリ等の予防策について考えとその具体策は。 知識も少なく抵抗力も弱い子供達への注意喚起と正確な知識や対処法をどのように教えるのか。 町民自ら身を守る観点から、町民としての責務を果たしてもらうためにも条例で明記しては。	

洞爺湖町議会平成 29 年 9 月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
3 番 五十嵐 篤 雄	3 縄文遺跡群の世界遺産登録の今後について	残念ながら今回は推薦されなかったが、次回も再度挑戦するとしている。どのような問題点がありどう改善するかなど、今後の戦略は。 文化財は法的に保護するように義務づけられているために色々な制約があり独自性が出せない状況となっている。法改正が予定されているが新しい展開が期待できるのか。また、町民に向けてもっと理解や協力を求めるべきと思うが考えは。	
9 番 板 垣 正 人	1 町から町民向けの広報等について 2 道道洞爺湖登別線中央通の大型車両通行による振動問題について 3 ジオパーク推進について	町から多くの広報（広報とうや湖・回覧・防災無線等）が届くが、その情報を知らない町民が多いと思う。町の考えは。 町主催の大きなイベント等は新たな周知の方法も必要と思うが町の考えは。 毎月、各課のイベント情報等は、広報に一覧化（同じページ）すべきと思うが町の考えは。 マンホールの改善が必要と思うが町の考えは。 交差点の危険箇所（見通しの悪い場所）の改善は。 交通安全対策の信号・横断歩道の設置に向けての進捗状況は。 日本で初めて認定された町として、アピールが足りないと思うが、町の考えは。 ジオパーク推進課のあり方について伺います。	
2 番 越前谷 邦 夫	1 魅力ある地域社会創造に向けた洞爺湖町の行方は	第 2 期洞爺湖町まちづくり総合計画が 29 年度より始まった。総合的視点で洞爺湖町の将来像を前進させるため、住民参加型のまちづくりの手法と成長戦略を伺う。 時代の流れに伴い、広域連携を前進させることが重要である。日本創成会議が提言した東京圏高齢化危機回避戦略として、生涯活躍のまち（日本版 C C R C）構想を西胆振 3 市 3 町による広域連携事業は全国に前例がないという。洞爺湖町の果たす役割は。	

